

## 駅舎・駅ビル先行事例の視察 報告書

日 時 平成 29 年 10 月 7 日 (土) 10:00～12:00

場 所 東急目黒線 西小山駅、JR 山手線 大塚駅

参加者 納谷会長、高木副会長、織茂会計、池田、塚本、松井 (6 名)

## 概 要

## 1. 東急目黒線 西小山駅

西小山駅は、東急目黒線で目黒駅から各駅停車で 3 番目に位置し、1 日の平均乗降人員は平成 28 年で 37,052 人 (沼袋駅は 20,389 人)。急行通過駅であるが、大岡山駅や田園調布駅などの急行停車駅よりも平均乗降人員が多い。連続立体交差化事業により、平成 18 年 7 月に地下化、平成 20 年 4 月に駅ビル竣工、平成 21 年 5 月に駅前広場が完成している。



当日 10:00 に現地集合し、まず駅の南西側の線路跡地に設置された「東急西小山駅 (南) 駐輪場」を視察した。ここは、自転車を約 600 台 (原付 20 台を含む) 収容することができる。主に通勤・通学に使用されているようで、土曜の昼間という時間帯のためか利用者はあまり見られなかった。なお、駅の反対側の線路跡地にも「東急西小山駅 (北) 駐輪場」が設置され、こちらは自転車を約 350 台収容することができる。

次に駅の南西側の駐輪場を通り抜け、そのまま線路跡地に設置された西小山緑道を少し散策した。明るい色のタイルが敷き詰められ、ほぼ直線の緑道は、自転車・バイクの乗り入れが禁止され、休憩用のベンチ (炊き出しベンチ) がところどころに設けられていた。こちらも三連休初日の昼間だからか、あまり人影が見られなかった。ちなみに、駅の反対側にある駐輪場の先の線路跡地も「武蔵小山緑道」という遊歩道になっている。



・西小山緑道にあった案内板より



駅周辺は、昔ながらの商店街が残っており、洗足田園都市といわれる高級住宅街でありながら、西武新宿線野方駅のような雰囲気が見られた。駅周辺には、東急ストア（駅ビル内）、イオン、サミットなどのスーパーと小売店があり、日常の買い物には不自由しないと思われる。特に東急ストアは、単身世帯やDINKSに対応した「東急ストア フードステーション」という業態の第1号店で、食料品・惣菜が充実していた。なお、駅周辺には、交番（駅徒歩6分に荏原警察署江戸見坂交番あり）、ファストフード店（牛井の松屋あり）、金融機関（駅から300mほど離れたところに芝信用金庫と目黒信用金庫の支店あり）が見あたらなかった。

駅の北東側には、立会道路（補助30号線）という少し広い道路があり、駅前のロータリーに通じている。立会川を暗渠化し、その上部を整備した道路ということで、電柱が地下化され、ガードレールも一部にしか設置されていなかった。東急目黒線の南側にあたる部分が拡幅されていないこともあり、自動車の交通量はあまり多くなかった。（中原街道から西小山駅までの区間は、一部が西小山駅に向かう一方通行となっている）



駅の南側にはロータリーが設置されているが、バス停はない。バスを利用する場合は、隣の武蔵小山駅か洗足駅、あるいは洗足学園前まで700mほど移動しなくてはならない。（徒歩で10分程度）ロータリーにはタクシー乗り場があり、1~2台客待ちしていたが、割と閑散としている印象を受けた。ロータリー横にはアーケード街があるが、飲食店（飲み屋）が多く、夜にはまた違った街の顔が見られると思われる。

最後に駅ビルを視察した。地上3階地下2階、敷地面積1,093㎡、延床面積2,001㎡（駅舎・駐車場を除く店舗部分のみ）とそれほど大きくないが、テナントとして前述した東急ストア以外に、サイゼリア、美容室、歯科医院、ファッションリフォーム店、書店が入居している。（書店以外は2~3階）竣工時には、女性専用フィットネス、ローソン、リラクゼーション（てもみん）が入居していたが、ここ数年で撤去したようである。





西小山駅周辺で約1時間の視察を終え、改札を通過して次の目的地であるJR大塚駅への移動を開始した。(改札は地上1階) 改札内は、地上1階に駅員室・トイレ・書店、地下1階に

コインロッカーと公衆電話、地下2階にホームと待合室が設置されている。改札階からホーム階までの移動は、階段の他にエスカレーターとエレベーターがあり、ホームにはホームドアも設置されている。なお、目黒駅方向のホーム端には、ひっそりと避難階段入口の扉がたたずんでいた。



・ 駅ビル1階の切符売り場にあった案内図より

## 2. JR 山手線 大塚駅



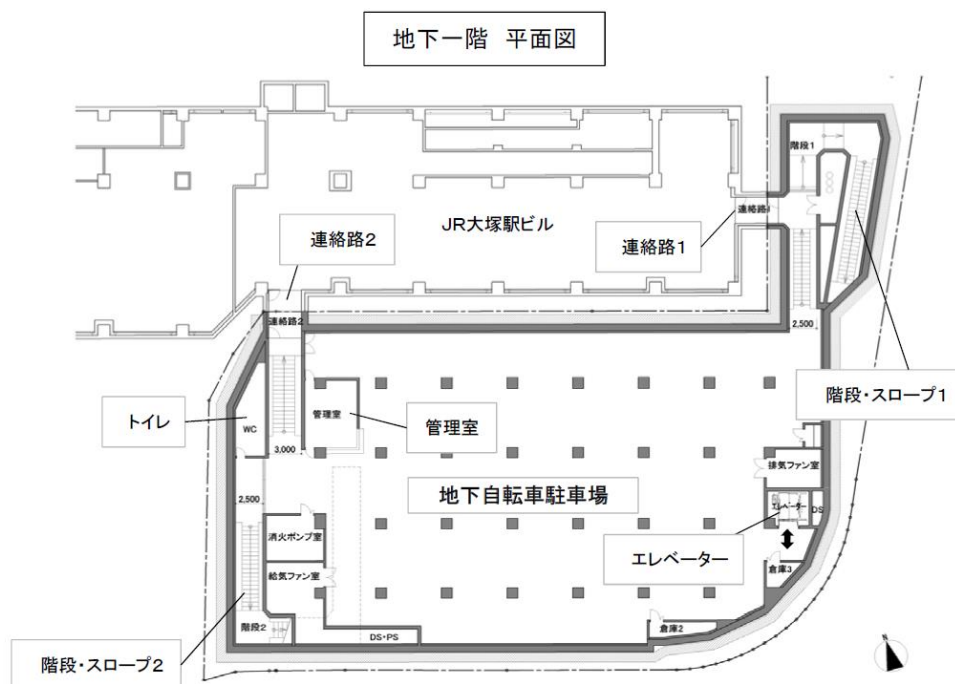
大塚駅南口駅前広場は、平成29年5月に完成。JR大塚駅南口ビル「アトレヴィイ大塚」と都電荒川線に囲まれた広いエリアで一段低くなったところに木のベンチが設置され、植樹帯にはバラが植えられている。この南口駅前広場は、大塚バラまつり、おおつか音楽祭、東京大塚あわおどりなどのイベントに活用されている。

「大塚駅南自転車駐車場」は、平成 29 年 6 月 1 日から供用を開始した豊島区が運営する駐輪場である。南口駅前広場の地下に位置し、約 700 台



収容でき、通勤・通学などの定期利用を対象としている。(当日利用不可、原付・バイク不可) 供用開始から日が浅いためか、まだスペースには空があるとのこと。ガラス張りのスロープ (2カ所) は、電動のサイクルスロープが設置されており、階上まで押して登る必要がない。また、自転車ごと乗れる大型エレベーターも完備され、シルバー人材センターの職員が随時巡回しているのも、利便性は高い。(その分、ランニングコストもかかると思われる) 三連休の初日、しかもお昼前ということで、利用者の姿はあまり見られなかった。平成 25 年にオープンし、約 500 台収容できる「JR 大塚南口ビル駐輪場」と連結しており、こちらは一時利用のみと棲み分けをしている。

正午過ぎに視察を終え、現地解散した。



以上

【記録 高木明郎】